

国立大学法人鳥取大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和6年12月19日（木） 13:00～15:00 鳥取大学医学部総合教育棟1階多目的会議室	
委 員	委員長 玉井 孝幸（高等専門学校教授） 委 員 田中 康裕（税理士） 委 員 柿原 正樹（銀行経営統括部調査役）	
審議対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	
抽出案件（合計）	9件	（備考） 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
工事（小計）	7件	
一般競争 （政府調達協定対象工事）	0件	
一般競争 （上記工事を除く）	4件	
工事希望型競争	0件	
通常指名競争	0件	
随意契約	3件	
設計・コンサルティング業務	2件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

別 紙

1. 令和5年度工事等請負契約に関する入札及び契約手続きの運用状況等について ・特になし 2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について (1) 鳥取大学（三浦）工学部K棟外壁等改修工事 ・直接工事費の積算は（応札）3者とも大学の積算と比べて、差はないのか ・仮設費はどうか ・仮設費の価格は適正なのか。また数量に差異はなかったか。 ・資材リース費、労務費は適正か。 ・県の最低賃金に抵触しないのか ・低入札の調査は、ダンピングや下請いじめの有無を見ているのではないのか。相手方が問題ないと言えばそれでいいのか。 ・直接工事費より安い金額で契約しているが、赤字ではないのか。 ・共通費の算出は工事の種類で分かれているのか	・本学の積算とそこまで大きな差はない。 ・元請業者と下請業者の長年にわたる取引関係により通常より安価となっている。 ・数量の差異はなく、仮設材の種類が本学積算と異なる為で、適正と判断している。 ・適性と判断している。 ・元請として適正に対応していると思うが、今後は確認したい。 ・直接工事費に差異はなく、適正と判断している。 ・赤字かは確認できないが、工事实績を得るための企業努力と判断している。 ・公共建築工事積算基準によっており、工事の種類によって分かれていない。
--	--

(2) 鳥取大学（三浦）共通教育棟E棟等屋上防水改修工事 ・ (1) の案件で辞退した者が本件を落札し、本件を落札した者が (1) の工事を辞退しているが関係性はどうなのか。 ・ 低入札調査で各下請業者との長年における取引があるということを聞き取っているが、入札金額のどの部分に反映されているのか。 ・ 内訳の内容はどうだったか。もっと具体的にヒアリングをすべきではないか	・ (1) の受注業者より事前に別の公共工事を受注した際は辞退する相談があり、両者に何らかの関係はないと判断している。 ・ 器材・資材調達費である。 ・ 直接工事費は大きな差異はない。今後もう少し踏み込んだ確認を検討する。
(3) 鳥取大学（米子）保健学科棟1号館等外壁改修工事 ・ 応札者すべてが最低基準価格以下の応札であるが、この状況になった理由は何か。 ・ 予定価格に問題はないのか。 ・ 数量の差異はどうか。	・ 直接工事費は本学の積算に近いが、いずれも共通費を削減し応札している。 ・ 特に問題はないと考える。 ・ この工事から数量公開を行っている為、差異はない。
(4) 鳥取大学（三朝）林道災害復旧工事 ・ 1 者入札の理由は何か。 ・ 一般競争すべき案件であるのか。	・ 当時、県内では多数の災害復旧工事があり、かつ工事場所は山奥の為、受注できる業者がいない現状であった。 ・ 災害復旧の申請から予算措置までに時間を要し、緊急性も低かった為、一般競争とした。

(5) 鳥取大学（浜坂）インターナショナル・アリド・ラボ高圧ケーブル取替工事 (6) 鳥取大学（三浦）大学会館電源仮設工事 (7) 鳥取大学（三浦）大学会館高圧ケーブル取替工事 ・ 契約に問題はないが、定期点検に問題があったのではないかと (8) 鳥取大学工学部Ⅰ棟改修設計業務 (9) 鳥取大学工学部Ⅰ棟改修設備設計業務（再公示） ・ 3月に公告する理由は何か ・ 実質上の完成期限は5月中旬ということだが、これは確約されるものなのか ・ プロポーザルに対応できる業者は県内にあるのか 3.報告.再苦情の申立て状況について ・ 特になし。 4.その他 ・ 特になし。	・ 定期点検は問題ない。本件はいずれも非常に稀な事象である。 ・ 補正予算であり、早期執行のためである。 ・ 確約ではないが、一般的にはそうなる。 ・ 少ないと思われる。
---	---